



郵便  
**報知新聞**  
 第五百六十五号

男子者者妻より能く前光の思慮く  
 分別を以て貴とす去り度決心の後再び未練  
 と残を妻あれば併に禍害を引出す妻はり  
 備中国浅口郡玉島村の田嶋政太郎は年五十  
 及び妻を失ひ一の年未だ廿三の安  
 と迎へて後添とほ言にやまの政太郎が  
 年寄ると面白く思ふものゝ家内  
 小口説絶やねの政太郎思ひ切に難縁  
 るが後に至り老母や我子の手に養育  
 兼る後悔しやすが家み起て再縁乃  
 儀を説されどもろろの返答なれば  
 無念の更し思ひつゝ何時か眼を暗え  
 と待たぬ知らぬ彼やすし隣家(住てく  
 と道ちの設る政太郎安を害して立  
 退しが程く捕縛さざると



全  
 金  
 寶  
 堂

大  
 福  
 芳  
 館

